

令和6年7月16日

法制審議会民法（成年後見等関係）部会への意見書

一般社団法人 日本発達障害ネットワーク

副理事長 大塚 晃

一般社団法人日本発達障害ネットワーク(JDDnet)は、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害等の発達障害者及び家族の権利と利益の擁護者として、理解啓発・調査研究・政策提言等を行い、発達障害のある人の自立と社会参加の推進に向けて活動を行っている全国組織です。平成16年12月の発達障害者支援法の成立とともに組織化され、発達障害関係の全国および地方の障害者団体や親の会、学会・研究会、職能団体などを含めた幅広いネットワークです。

民法（成年後見等関係）の見直しに当たっての検討に際しまして、発達障害者の特性が十分に理解され、その権利が擁護され、法的に適切な対応がなされるよう、以下の事項を提案いたします。

1. 本人を中心とした柔軟な制度に
2. 障害の社会モデルに基づく制度設計を
3. 最小制約に焦点を当てた制度の見直しを
4. 成年後見人等に対する報酬助成の拡大
5. 地域における総合的な権利擁護支援システムの構築

以上